

2 乳がんと診断されたら

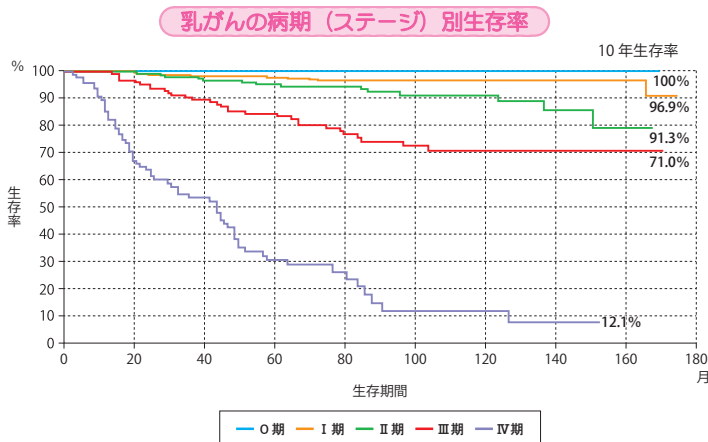
乳がん、または乳がんの疑いがあると診断されたら、しこりの大きさはどのくらいか、転移があるかないかなど、がんの進行の程度を表す「病期（ステージ）」について担当医に十分説明してもらいましょう。

ステージを知ることは、今後の自分の治療方法を決める際にも役立ちます。

1. 病期（ステージ）とは

乳がんと診断されたら、しこりの大きさがどの程度か、わきの下のリンパ節に転移しているかなど、広がりによって8段階の病期（ステージ）が決められています。それぞれのステージによってどのような治療法が適しているかが検討されます。

早期であれば、90%以上が治癒します。



東北大学病院（2001～2010年）より

8段階の病期（ステージ）

O 期	がんが発生した乳腺の中にとどまっているもの。極めて早期の乳がん「非浸潤（ひしんじゅん）がん」という。
I 期	しこりの大きさが2 cm以下。わきの下のリンパ節には転移しておらず、乳房の外に広がっていない。
II a 期	しこりの大きさが2 cm以下だが、わきの下のリンパ節に転移がある。またはしこりの大きさが2～5 cmで、わきの下のリンパ節に転移がない。
II b 期	しこりの大きさが2～5 cmで、わきの下のリンパ節に転移がある。
III a 期	しこりの大きさは2 cm以下だが、わきの下のリンパ節に転移があり、さらにリンパ節同士が癒着していたり、周辺の組織に固定している。 またはわきの下のリンパ節への転移はないが、胸骨の内側のリンパ節がはれている。 あるいはしこりの大きさが5 cm以上で、わきの下あるいは胸骨の内側のリンパ節への転移がある。
III b 期	しこりの大きさ、わきの下のリンパ節への転移の有無にかかわらず、しこりが胸壁にがっちり固定していたり、皮膚にしこりが顔を出したり、皮膚が崩れたり、皮膚がむくんでいる。炎症性乳がんも含まれる。
III c 期	しこりの大きさにかかわらず、わきの下のリンパ節と胸骨の内側のリンパ節の両方に転移のある場合。あるいは鎖骨の上下にあるリンパ節に転移がある場合。
IV 期	遠隔臓器に転移している。乳がんが転移しやすいのは骨、肺、肝臓、脳など。

参考：国立がん研究センターがん対策情報センター